

## 広畑青山線整備の特徴

### 自転車道の整備

兵庫県では、「自転車ネットワーク計画」に位置付けられた自転車ネットワーク路線、および中高生の自転車通学経路の安全対策を図るため「自転車通行空間整備5箇年計画」を策定し、重点的に対策を推進しています。

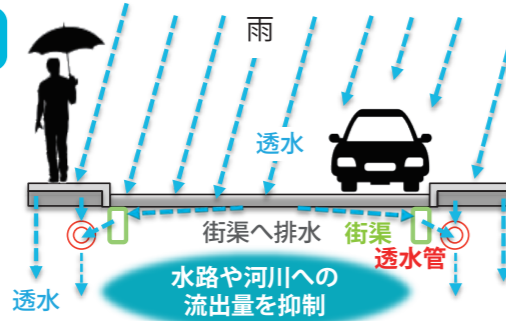
広畑青山線では、相互通行が可能な自転車道を設置し、ベンガラ色でカラー舗装を行う予定です。



イメージ

### 環境に優しい舗装

広畑青山線では、車道部は排水性舗装とし、交通による騒音を低減します。自転車道と歩道は透水性舗装とし、雨水を地下に涵養し、地域の環境改善に貢献します。これらの排水性舗装や透水性舗装により、水路や河川への流出量を抑制し、地域の水害対策を図っています。



### 管理費節減に向けた植栽の整備

中央分離帯等には、排ガス、乾燥、塩害に強いグランドカバー植物であるガザニアを採用しています。ガザニアの持つ雑草抑制効果、耐乾燥効果により、除草や、灌水作業にかかる維持管理費の低減が可能になります。

また、常緑性で1年を通じて開花することにより、地域的美観向上効果も期待できます。



イメージ

### 空気式遮断機

集中豪雨が頻発する中、道路と鉄道が交差するアンダーパス部では、誤進入による車両水没も発生していることから、姫路市内の県管理道路全てのアンダーパス部において、大雨時における通行の安全性を一層確保する空気式遮断器（エアバルブで道路を物理的に封鎖する装置）を設置しています。

新しいバイパスのJR山陽本線交差部にも本設備を設置します。



現道部の設置状況

### 広畑青山線周辺の遺跡

広畑青山線整備に伴って、埋蔵文化財の発掘調査が行われました。広畑区には郷着遺跡と才村遺跡があります。郷着遺跡は今回の調査で初めて見つかった遺跡です。

郷着遺跡はなだらかに南へ伸びる沖積地であり、集落が立地する微高地と川跡や溝、水田が営まれた旧河道部分に広がっています。郷着遺跡・才村遺跡のいずれも弥生時代～古代・中世のものと思われる集落跡であり、溝や水田跡が発掘され、多数の土器が出土しています。



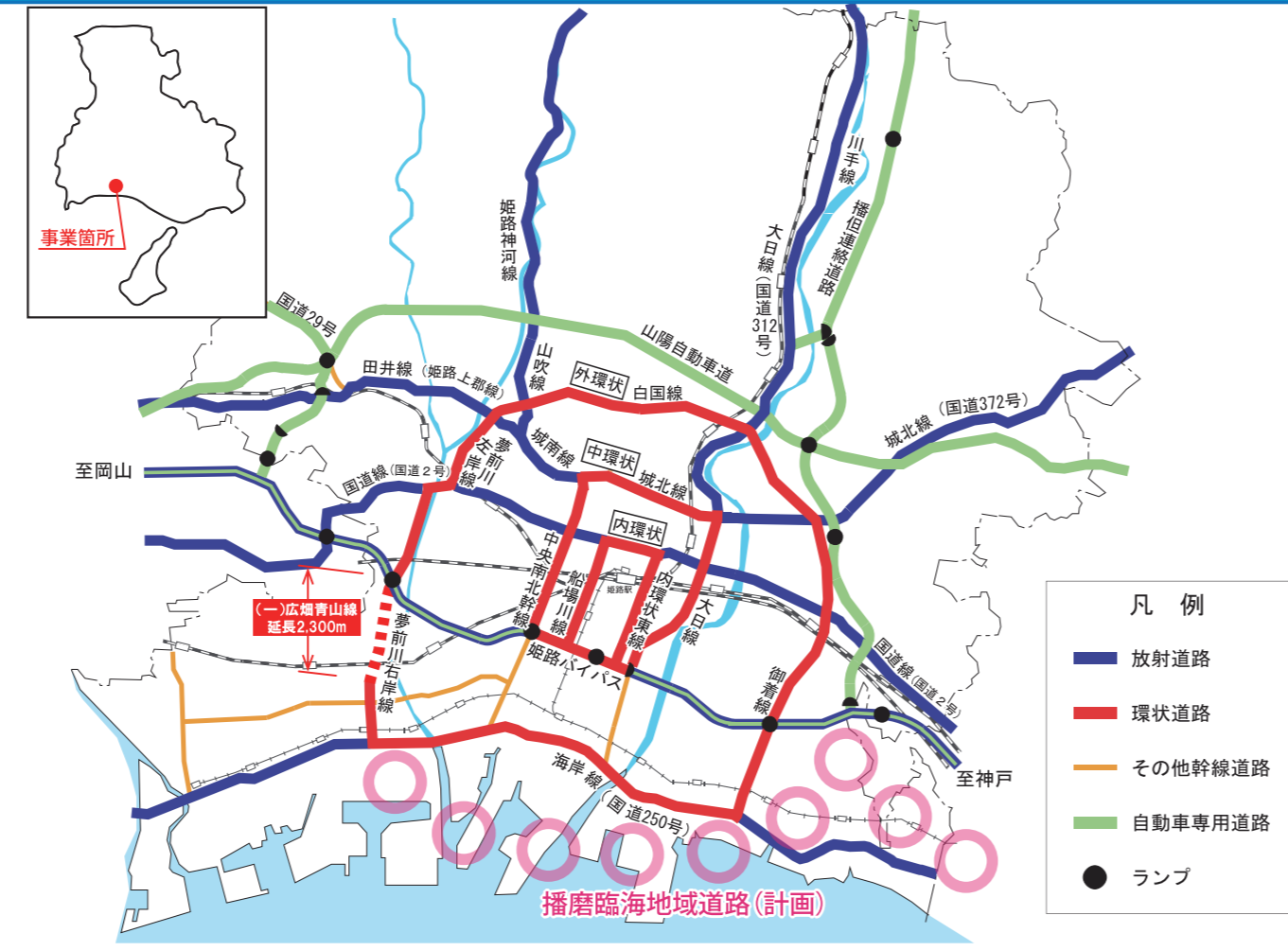
遺跡調査の航空写真

古墳時代の水田畦跡の痕跡

井戸の状況

兵庫県立考古博物館提供

## 姫路市幹線道路網計画



- 凡例
- 放射道路
  - 環状道路
  - その他幹線道路
  - 自動車専用道路
  - ランプ

# 一般県道広畑青山線

## 安全で円滑な道路環境を実現！

### 播磨臨海部と姫路バイパスを南北に直結する幹線道路



県道と久今宿線  
正門交差点

至 国道2号 姫路バイパス  
姫路西ランプ

### お問い合わせ先

**兵庫県姫路土木事務所**

〒670-0947 姫路市北条 1-98  
(代表電話 079-281-3001)

## 整備効果

